



臨床医学研究のお知らせ

聖路加国際病院では、将来の医療を向上させるため、臨床医学研究を行っています。つきましてはご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。なお、個人情報 は 厳重に管理させていただきます。

研究計画や研究方法に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体の目的や進行に支障となる事項以外はお知らせすることができます。ご質問がありましたら下記連絡先にお問い合わせください。

この調査では、ご協力を拒否することも自由です。もし、研究へのデータ・試料の利用を望まない場合は、下記の連絡先までご連絡いただくか、医療スタッフへ申し出てください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】

住所：〒104-0044 東京都中央区明石町 9-1

電話：03-3541-5151

担当者の所属・氏名 整形外科 辻 荘市

【研究責任者】

聖路加国際病院 整形外科 辻 荘市

【研究代表者】

聖路加国際病院 整形外科 辻 荘市

骨粗鬆症の方を対象にした指示された通りに飲んだ薬の割合

(服薬率) に関する研究

1. 研究の対象

2015年4月から2020年3月までに骨粗鬆症関連疾患で当院へ入院、外来通院された患者さん。

対象とする薬剤;ビタミンD(エディロール、アルファロール)、ビスフォスフォネート製剤(ボナロン、ボノテオ、フォサマック)、SERM(エビスタ)、PTH(テリボン、フォルティオ) ビタミンK(グラケー)

骨粗鬆症関連疾患;大腿骨近位部骨折、脊椎椎体骨折、上腕骨近位部骨折、橈骨遠位端骨折の病名を有する患者さん

2.研究の目的・方法

現在、骨粗鬆症の薬を決まった通りに飲めない方が多く、再骨折を来す患者さんが増えています。

当院では、この状況を改善するために、骨粗鬆症リエゾンサービスを立ち上げ、薬を決まった通りに飲めない方が多くなならないよう取り組みを始めました。介入前と介入後の骨粗鬆症の方を対象にした服薬率に関する研究を行い、再骨折の有無を調査することが目的です。

なお、この調査では通常の保険診療以外の医療行為はなく、診療録(カルテ)に記載される内容についての調査のみとなります。

調査期間は研究倫理審査委員会承認後～2021年3月31日までの予定です。

3.研究に用いる試料・情報の種類

主なデータ項目は以下となります。

《情報》

- 1)患者背景:ID、イニシャル、性別、生年月日、入院・外来の別、身長、体重、既往歴(飲酒、喫煙、ステロイド、認知症、カフェイン)、服薬歴(ステロイド、抗精神薬)、等
- 2)一般検査:血液検査(WBC、RBC、Plt、分画)、血液生化学検査(ALP,Ca,P,Vitamin D, TRACP-5 b、P1NP)、等